

<報告資料一覧>

『ボートレース若松施設整備事業』に係る公共事業評価
(事前評価2)の市民意見募集結果について(報告)

- 1 ボートレース若松施設整備事業に係る公共事業評価の
市民意見募集結果 (報告)
- 2 公共事業評価に関する検討会議における留意点とその対応 (別紙1)
- 3 提出された市民意見の概要及びこれに対する本市の考え方 (別紙2)
- 4 公共事業評価に関する検討会議及び市民意見を踏まえた
市の対応方針 (別紙3)

(参考資料)

- 5 公共事業評価 (事前評価2) 概要資料
- 6 公共事業評価 (事前評価2) 説明用資料
- 7 公共事業事前評価調書 (事前評価2)

ボートレース若松施設整備事業に係る公共事業評価の 市民意見募集結果（報告）

（北九州市公共事業評価に関する検討会議及び市民意見の募集結果）

1 北九州市公共事業評価に関する検討会議

（1）検討内容

公共事業事前評価調書（事前評価2）を提示し、「事業の必要性」を中心に検討。

（2）検討結果

令和5年1月27日、事業実施に向けた準備を継続することについて、すべての構成員から「異議はない」との意見。

検討会議における留意点とその対応については、別紙1を参照。

2 市民意見の募集結果

（1）募集期間

令和5年2月21日（火）から3月22日（水）まで

（2）資料の配布・閲覧場所

各区役所・出張所等の市の施設 及び 北九州市ホームページ

（3）意見提出者数 37人

電子メール	郵送	FAX	持参
4人	21人	0人	12人

（4）提出された意見数 80件

内訳	件数
1 施設整備に関するもの	63件
2 運営に関するもの	15件
3 事業の費用に関するもの	2件

（5）主な意見（全体意見は別紙2を参照）

◇施設整備に関するもの

- ・市民の憩いの場としての整備を期待している。

- ・子供、家族連れでも安心して楽しめる環境づくり、ギャンブル場のイメージを払拭するような工夫をしてほしい。
- ・四季の花を見るために人が集まるような場所、季節感を楽しめるボート場にしてほしい。
- ・飲食スペースや飲食店、キッチンカーを設置してほしい。
- ・雨の日や真夏に遊べるような屋内施設、屋根付き施設がほしい。
- ・高齢者も安全に使える健康遊具を設置してほしい。
- ・高級感のある有料席やグループ席、カップル席など多様な席を増やしてほしい。
- ・災害発生時に施設の一部を避難場所として利用できるように整備してほしい。

◇運営に関するもの

- ・芝生広場では四季に応じたイベントがあるとよい。
- ・県外からも「遊びに行きたい」と思われるようなボート場になるように期待している。

◇事業の費用に関するもの

- ・ボートレースの収益を広く市民に還元できることが望ましい。
- ・収益金の一部を遊具やふれあい広場などに使うことは、いいことだと思うし、イメージアップにつながると思う。

3 検討会議及び市民意見を踏まえた市の対応方針（詳細は別紙3を参照）

検討会議では、本事業を計画通りに進めていくことについて、出席したすべての構成員が「異議はない」との意見であった。ただし、具体的な事業の進行にあたって、新規ファンの来場促進や市民へのPRについてなどの留意すべき点が、別紙1のとおり、意見として挙げられた。

これらの留意点に対する「市の対応方針」を含め、本事業について市民意見を募集したところ、特に反対する意見はなかったことから、検討会議での意見や市民からの意見を踏まえ、本事業を「計画どおり実施する」ものとする。

公共事業評価に関する検討会議における留意点とその対応
 (対象事業：ボートレース若松施設整備事業)

	公共事業評価に関する 検討会議での意見	市の対応方針
(1) 新規顧客の来場 促進について	ボートレース場に足を運んでいないインターネット客や、ファミリー層、若年層など新規ファン層の来場を促進するため精緻な分析をし、来場者拡大に向けた仕組みづくりを考えていただきたい。	中央団体が持つ顧客データを活用しながら、ファンのニーズを的確に把握し、ボートレース場に足を運んでいただくための仕組みづくりに活かしていきたい。
(2) 市民へのPRに ついて	ボートレース場に足を運んでいたような広報活動を積極的に行うとともに、ボートレースパーク化の社会貢献性もしっかりとPRしていただきたい。	ボートレースパーク化の推進にあわせ、地域社会への貢献について、市民に分かりやすく理解していただけるよう、広報活動を積極的に行いながら、来場者拡大に取り組んでいきたい。
(3) 改修内容につい て	実施設計を進めるにあたっては、地域住民への防災面や来場者への安全性の視点も重視していただきたい。	来場者への安全性について十分確保できるよう実施設計を進めるとともに、地域の防災施設としての利用についても検討していきたい。
(4) 地域貢献エリア について	地域貢献エリアの整備にあたっては、北九州市らしさ、若松らしさを取り入れていただきたい。	北九州市らしさ、若松らしさといった地域の特性も念頭に置き、魅力ある施設の整備を目指していきたい。

提出された市民意見の概要及びこれに対する本市の考え方
(対象事業：ボートレース若松施設整備事業)

以下に市民意見の概要及び意見に対する市の考え方を次のとおり公表します。

■意見募集期間

令和5年2月21日（火）から令和5年3月22日（水）まで

■意見提出状況

- (1) 提出者：37人（うち電子メール4人）
- (2) 提出意見数：80件

1 施設整備に関するもの・・・63件

意見の概要	本市の考え方	方針・計画への反映
怖いイメージが抜け、明るいテーマパークのようにしてほしい。	多くの人が集う、地域にとってかけがえのない施設となる様、事業の推進に努めてまいります。	追加修正なし
子供を遊ばせるリーズナブルな施設が少ないので、ボートレース芦屋まで連れて行っている。若松に早くできてほしい。		
モーヴィは芦屋や下関でもあるが、若松でできたら行ってみたい。		
市民の憩いの場としての整備を期待している。		
子供、家族連れでも安心して楽しめる環境づくりで遊具や芝生エリアの設置や分煙化の徹底、フードコート設置、ギャンブル場のイメージを払拭するような看板などの工夫をしてほしい。		
ボートレースに特化した施設でなく、レースも行っているくらいのほうが集客できるのではないかな。		
ボートレースのスポーツとしての魅力をアピールできるような施設を作ってはどうか。		
ギャンブル場という古いイメージを変えていける施設になってほしい。		
ギャンブルの負のイメージを払拭するためには施設がきれいなのは必須だと思う。		
スタンドが暗いので明るいきれいな場所にしてほしい。		
子供が遊ぶ場所の近くにトイレを作ってほしい。	施設整備を具体化するにあたって、ご意見を参考に敷地の有効活用、効率的な管理等を総合的に考慮し、老若男女を問わず世代間交流できるエリアとなる様、実施設計等を進めてまいります。	追加修正なし
芝生広場は四季の花を見るために人が集まるような場所にしてほしい。		
桜の木など季節感を楽しめるボート場にしてほしい。		
太陽光設置で電気代の削減及び災害時の停電対策となる。		
子供向け遊具を設置する。		
年齢別に子供遊具の設置エリアを設ける。		
雨の日や真夏に遊べるような屋内施設、屋根付き施設があるといい。		
モーヴィ、グリーンができれば利用したいが、飲食できるスペースがほしい。		
週末にイベントができるエリアを設置する。		
高齢者も安全に使える健康遊具を設置する。		
ボール遊びのできる公園にしてほしい。		
室内の遊び場を充実してほしい。		
大人のための遊具があるといい。		

飲食スペースや飲食店を設置する。		
ボートレースミュージアムのような施設を作ってほしい。		
場内の一部水面が見えるスタンドをファミリーエリアとしてエリア分けしてほしい。		
場内の飲食店にコンビニやチェーン店の飲食店をいれてはどうか。		
西スタンドにある唐揚げや焼き鳥が買えるようになるといい。		
フードコートのお店が少ない。子どもも食べられるようなメニューがあれば良い。		
コインロッカーを設置し、手荷物預所を廃止する		
場内にコンビニがほしい。		
バリアフリーをすすめてほしい。		
トイレに温水洗浄便座をつけてほしい。		
トイレの個室を子供連れでも利用できるようにし、男性トイレもおむつ交換場所がほしい。		
駐車スペースを充実させてほしい。		
駐車場を整備してほしい。		
立体駐車場にして傘がなしで入場できるようにしてほしい。		
駐車場の区画線や起伏をきれいにしてほしい		
補修費がかさばらないような耐久性のある建物を作ってほしい。		
犯罪防止のための警察官の待機所の設置		
有料席は高級感を出しレースを見やすい席の造りにしてほしい。グループ席、カップル席など席の種類を増やしてほしい。		
有料席に4人掛けのボックス席を設置してほしい		
VIP用の特別室の設置		
グループで観戦できる場所がほしい		
寝そべりながら観戦できる大広間がほしい		
地産地消を前面に出せるお店があるといい		
道の駅みたいなお店があるといい		
自転車などの練習スペースがあるといい		
地域貢献エリアにオートキャンプ場、BBQエリアをつくってほしい。		
近隣の農家が作った特産品を販売する。		
キッチンカーなどがあると食べ物をもっていかなくていい。		
舟券を買わないレースの隙間時間をつぶせるものがほしい。		
カジノリゾートのような宿泊施設を作ってほしい。	整備の予定はございません	追加修正なし
舟券が買えるデイサービス施設を併設する。		
足湯温泉施設を設置する。		
レンタルオフィス等を設置する。		
ドームにして風の影響のないスピード感ある競艇が見たい。		
スーパー銭湯のような施設などを設置する。		

災害時の避難場所としてしっかりとしたものをつくってほしい。	地域の防災施設としての利用についても検討していきたいと考えます。	追加修正なし
災害警報発令時、災害発生時に施設の一部を避難場所として利用できるように整備してほしい。		
モーヴィを新設するのは他でもしているのでもいいと思うが、グリーンはボートレースの顧客を増やす意味ではあまり必要ないと思う。	地域にとってかけがえのない施設とするために老若男女を問わず、世代間交流ができるエリアが新たに必要であると考えます。	追加修正なし
ROKUと同じような施設を作るのではあまり意味がない。		
ブルー西側に風よけになるような施設をつくったほうがいい。	今後の参考とさせていただきます。	追加修正なし

2 運営に関するもの・・・15件

意見の概要	本市の考え方	方針・計画への反映
芝生広場では四季に応じたイベントなどがあればよい。	魅力あるイベントを実施できるよう、ご意見を参考としながら、施設の運営をいたします。	追加修正なし
県外の方から「遊びに行きたい」と思われるようなボート場になるように期待している。		
パーク化では、教育的要素のある実習活動などができるように取り組んでほしい。		
水辺体験（カヌーなど）ができる機会の提供は有意義だと考える。		
若年層や女性、子供向けのサービスはどんどん増やせばいいと思う。		
駐車場を利用して、場内場外共有できるグルメの名店を集結させる。		
ボートレース若松にしかないお店やここでしか食べられないものを作ってSNSで宣伝すれば、来場者も増えるのではないか。	整備の予定はございません。	追加修正なし
ファミリーレストランやファーストフード、ユニクロ、GU、無印良品など出店してほしい。		
飲食コーナーに大手チェーンの誘致する。		
近隣にビジネスホテルを誘致してほしい。		
吉野家、すき家、松屋等を誘致する。		
ボートレース場の食堂をキャッシュレスカードで利用できるようにしてほしい。	ファンサービスの一環として、今後検討していくなかで、参考とさせていただきます。	追加修正なし
交通の便が悪いので電車を増やしてほしい。	ファンバスなど来場しやすいアクセス方法についても検討していきます。	追加修正なし
ボートレースは危険なので女性や子供に向かない。	整備とは直接関連はございませんが、ご意見として承ります。	追加修正なし
ボートレースの教室があるといい。	現在、初心者の方向けにビギナーズデスクという窓口を設け、ボートレースについてレクチャーしています。こちらは今後も引き続き続けてまいります。	実施済

3 事業の費用に関するもの・・・2件

意見の概要	本市の考え方	方針・計画への反映
ボートレースの収益を広く市民に還元できることが望ましい。	今後も収益を確保し、本市財政へ寄与するとともに、地域貢献できるよう努めてまいります。	追加修正なし
遊具やふれあい広場として収益金の一部を使うのはいいことだし、イメージアップにつながると思う。		

公共事業評価に関する検討会議及び市民意見を踏まえた市の対応方針

(対象事業：ボートレース若松施設整備事業)

【対応方針】

本事業は計画どおり実施することとする。

【対応方針決定の理由】

ボートレース事業は、地方財政の改善を図ることなどを目的に、モーターボート競走法に基づき実施されている。

本市のボートレース事業であるボートレース若松は、独立採算で特別会計を設けて実施し、その収益の一部を一般会計へ繰り出している。

この一般会計繰出金は、本市の市民生活の充実・利便性の向上等に寄与しており、今後とも安定的かつ継続的な確保が求められている。

また、平成30年4月からは地方公営企業法を適用するなど、更なる経営の強化を図りながら事業を実施しているところである。

今回検討している「ボートレース若松施設整備事業」は、主に、築26年が経過し、設備の更新時期を迎え、建物の老朽化も進行している西スタンド棟の改修を行うものである。

また、年間20万人以上の来場者の安全の確保はもとより、新たなファン層を開拓するためには、アミューズメント空間へとリニューアルし、魅力的な集客施設としての整備が必要である。

加えて、ボートレース業界では、多くの人が集う、地域にとってかけがえのない場所を目指す「ボートレースパーク化」を推進しており、ボートレース若松の経営戦略に掲げる「親しまれるレース場」の実現に向け、子どもから大人まで幅広い世代を対象に地域貢献エリアの新設を検討している。

施設整備の財源は、ボートレース事業の収益金である建設改良積立金ですでに所要額を確保できており、税等の一般財源や企業債は予定していない。また、地域貢献エリアの新設にあたっては、遊休スペースとなっている駐車場の一部を有効活用することとしている。

今回の施設整備は、ボートレース事業継続に重要な投資であるとともに、ビッグレースの誘致にもつながり、収益と繰出金の双方に増加効果が見込まれる。

公共事業評価に関する検討会議では、本事業を計画どおり進めていくことについて、出席したすべての構成員が「異議はない」との意見であった。ただし、具体的な事業の進行にあたって、次のとおり、留意すべき点が意見として挙げられた。

(1) 新規顧客の来場促進について

新規ファン層の来場を促進するため精緻な分析をし、来場者拡大に向けた仕組みづくりを考えること。

(2) 市民へのPRについて

広報活動を積極的に行うとともに、ボートレースパーク化の社会貢献性もPRすること。

(3) 改修内容について

地域住民への防災面や来場者への安全性の視点も重視すること。

(4) 地域貢献エリアについて

地域貢献エリアの整備にあたっては、北九州市らしさ、若松らしさを取り入れること。

これらの留意点を踏まえた市の対応方針案について市民意見を募集したところ、本事業を計画どおり進めていくことについて反対する意見はなかったことから、本事業は「計画どおり実施」するものとする。